

## 東京2020大会における都市ボランティア等について

## 1 都市ボランティア

## (1) 実施概要

オール千葉で訪れる方々をお迎えし千葉の魅力を伝えることを目的として、大会開催時及びその前後の期間に本県を訪れる旅行者・観客等に対して、会場周辺駅や主要駅、空港などで交通案内や観光案内等の「おもてなし」を行う都市ボランティアの育成、運営を行った。

## 〈都市ボランティアの応募・採用等の状況〉

活動エリア（運営主体）	募集人数	応募人数	採用人数 (応募人数/採用人数)	最終人数 (R3.8月)
千葉会場（千葉市） 一宮会場（一宮町） 成田市内（成田市） 成田空港（千葉県） 浦安市内（浦安市）	3,000人	6,546人	2,826人 (2.32)	1,370人

## (2) 実施結果

## ① オリエンテーション／各種研修

令和元年：大会の基礎的な情報や案内に必要な視点などを学ぶ共通研修を実施した。

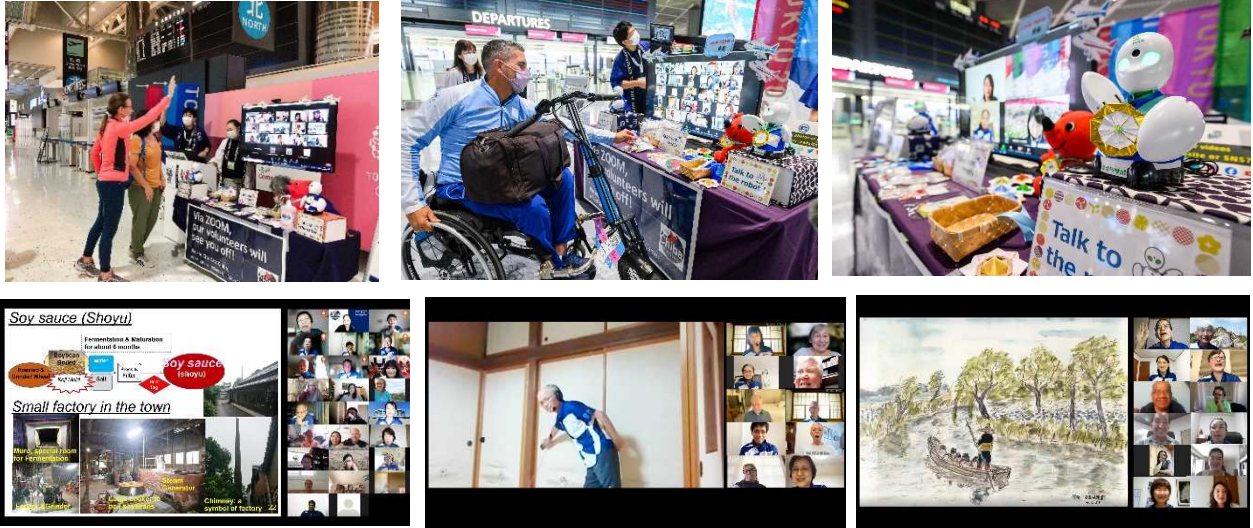
令和2年：各エリアで研修を実施し、「おもてなしの心や大会理念の1つである「多様性と調和」などを学んだ。3月に大会の延期が決定され、以降、オンラインで自主的な勉強会や交流会を開催して活動機運の維持に努めた。

令和3年：6月にリーダーシップ研修をオンラインで開催し、各運営主体では大会開催に向けて研修等を行う中、無観客開催が決定されたことから現場での活動は全て中止し、県ではオンラインを活用した活動を実施することとした。



② 大会期間中の活動（バーチャルツアー、見送り活動等）

現場活動は中止となったが、外国人向けのバーチャルツアーや、成田空港での見送り活動など、工夫を凝らし、オンラインを活用して千葉県ならではのおもてなし、ボランティア活動を行った。



2 都市ボランティア体験プログラム（R3）

より若い世代が活動に参加し、ボランティアやおもてなしのレガシーを創出していくため、中学生・高校生の年齢を対象として、都市ボランティアの補助や「おもてなしグッズ」の配布を行う体験プログラムの実施を予定していたが、無観客開催となったため、オンラインで成田空港内のユニバーサルデザインや多文化共生を学び、案内する演習を実施した。

《都市ボランティア体験プログラムの応募・採用等の状況》

活動エリア（運営主体）	募集人数	応募人数	採用人数 (応募人数/採用人数)	最終人数 (R3.7月)
千葉会場（千葉市） 一宮会場（一宮町） 成田市内（成田市） 成田空港（千葉県）	500人	2,194人	496人 (4.42)	459人





### 3 その他の事業

#### (1) 「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座〔H29～R1〕

都市ボランティアを配置するエリア以外でも県内各地で「おもてなし」を実践するボランティアを育成することで、外国人観光客等が安心して千葉県に滞在できる環境を整えるため、簡易な外国語を用いて道案内等の手助けを行うことができる人材の育成を目的として「外国人おもてなし語学ボランティア」の育成講座を開催した。

おもてなし講座は全 53 回（県内 20 市町村）開催して 2,266 名が参加し、フォローアップ講座は全 3 回を開催して 256 名が参加した。

講座名	実施内容
おもてなし講座	外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識や、「おもてなし」の心を身に付けるため、おもてなしや異文化コミュニケーションについて映像やグループワークを通して学習する。
語学講座（英語）	中学校で学習する程度の語彙・表現を用いて外国人と道案内等の簡単なやり取りができる程度の会話力を身につけるため、テキストを活用し、受講者同士のロールプレイングを交えながら、定型的な表現を中心に学習する。



#### (2) #ちょいボラ〔R1～R3〕

##### ① 「#ちょいボラ」キャンペーン

「ちょいボラ」とは、身近なことでできる「ちょっとしたボランティア」のことで、様々なボランティア活動への参加意識を高めていこうとする取組みであり、普及キャンペーンを展開して生徒・児童など多くの県民の方に体験していただいた。

##### ② 「ちょいつく」（2020 おもてなしグッズの作成）

国内外から訪れる観光客等に「また千葉県に来たい」と思ってもらえるよう、競技会場の周辺で都市ボランティア等が配る、手作りのお土産（おもてなしグッズ）を作成する事業を実施した。約 3 万点のグッズが集まり、成田空港での見送り活動等で配付した。



《おもてなしグッズ例：折り紙で作るお守り（Good luck charm）、箸置きなど》

## (3) 次世代ボランティア人材育成事業 [H30～R2]

若者に対して、「ボランティア精神」や「おもてなしの心」を醸成する事業を実施し、地域コミュニティを構成する様々な主体が連携・協働することで、地域を担う次世代のボランティア人材を効果的かつ持続的な育成を目的とした事業を実施した。



《バリアフリー設備の確認（海浜幕張駅周辺）》



《女子ソフトボール選手達との交流》